

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	040203020008	事務事業名	創業支援事業	
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	活気のあるまちづくり	
基本施策	まちのにぎわいの創出	取り組み事項	商工業の活性化を図る	
部名	市民生活部	課名	地域振興課	
事業の開始	平成28年度	終了年度	なし	
実施の概要	相生市、相生商工会議所、日本政策金融公庫姫路支店、NPO法人ひと・まち・あーとの4者と市内金融機関で「相生市創業支援ネットワーク」を構築し、各機関の連携と情報の共有により効果的に創業者を支援する。			
対象	創業希望者			
目的	新しい事業のアイデアや意欲を持つ者に対して、関係機関が連携し、適時の専門的相談や情報の提供、セミナーの開催等、総合的な創業支援を行い、創業促進を図る。			
事務事業類型	ソフト事業			
関連計画				
根拠法令	法律・政令・省令			
	産業競争力強化法			

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	678,655	764,987	648,791	700,388	700,388	700,388
事業費計	500,000	502,680	502,680	511,000	511,000	511,000
フルコスト	1,178,655	1,267,667	1,151,471	1,211,388	1,211,388	1,211,388

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	1,178,655	1,267,667	1,151,471	1,211,388	1,211,388	1,211,388
事業費計ー特定財源	500,000	502,680	502,680	511,000	511,000	511,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		【質】新規創業者数					
単位		件					
指標数値のめざす方向		維持					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		2	2	2	2	2	2
単年度実績値		5	8	5			
前年比		—	160%	62.5%	—	—	—
単年度達成率		250%	400%	250%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1	新規創業者1件辺りフルコスト					
単位	円／件					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	589,327.5	633,833.5	575,735.5	605,694	605,694	605,694
単年度実績値	235,731	158,458.375	230,294.2			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	雇用形態が多様化している状況において、独立・創業を目指す市民に対して適切に支援を行う必要がある。	あり
有効性	B: 比較的有效である	創業相談により新規創業に繋げることで、空き店舗助成制度活用との併用により、相乗効果による創業支援として連携をとり有効的な事業である。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	市内の商工業の状況及び支援方法に精通する関係団体と連携することで、必要な箇所に必要なタイミングで適切な支援が実現できている。	なし
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	商工会議所、市内金融機関との連携は密に行えているが、他のネットワーク機関との連携を強化していく必要がある。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	広報折込や商工会議所のホームページ等で相談業務の周知や創業塾の案内などの情報提供は行えている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	創業相談の実施や空き店舗助成の活用により新規創業につなげることができている。また、創業相談者が創業塾を受講することでより安心で確実な創業への取り組みを行うことが実現できている。
休止・廃止となったときの影響	創業に関する細かな支援が行き届かなくなり、創業希望者の意欲の低下を招く。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	商店街空き店舗助成との連携により、効果的な取り組みが行えており、継続して実施する。